

開催記録

公益社団法人日本技術士会
 技術士海外活動支援委員会
 記録：谷口友孝
 写真：田中耕一
 アンケート：可児正勝

1. 行事名, 開催日, 場所, 参加者, 配布資料

演題	ーイラク戦争から見たウクライナ復興支援に対する技術士への期待ー
開催日, 時間, 場所	2026年 3月13日(金) 15:00~17:00 会場 (機械振興会館 6階 6D-1 会議室) およびオンライン配信
参加者	講演者:1名 聴講者:71名 (会場10名、オンライン61名)
配布資料	『イラク戦争から見たウクライナ復興支援に対する技術士への期待』

2. 概要

司会	坪井秀夫 内外連携小委員会 小委員長
委員長挨拶 15:00~15:05	海外活動支援委員会 細谷佳弘 委員長 1) 講演開催の挨拶 2) 講演者の紹介  司会の坪井小委員長
講演 15:05~15:25 (途中10分間の休憩)	講師：海外活動支援委員会副委員長 谷口友孝 氏 ーイラク戦争から見たウクライナ復興支援に対する技術士への期待ー 1) <u>イラク戦争について</u> イラク戦争の勃発から日本が復興を支援するに至るまで 2) <u>イラク復興支援の状況について</u> 戦後の復興を日本がどう支援したか 3) <u>ウクライナ戦争とその復興支援について</u> ウクライナ戦争の勃発の経緯から復興に向けて見えること 4) <u>「技術士」への期待について</u> 求められるのは「倫理観」と「教養」 質疑応答 1) (質問) イラクのローカルコンサルタントが現場での重要な役割を担うと思うが、彼らをどのように教育指導したのか。⇒ (回答) 一から指導する必要があった。ただ、もともとコンサルの素養はあるので指導は容易でもあった。 2) (質問) イラクと日本とのコミュニケーションは言語の違いがある中でどのようにとったのか。⇒ (回答) 英語での意思疎通である。イラク  開会の細谷委員長  講演中の谷口講師  質疑応答

人や日本人だけでなく、施工監理に入ると業者であるコントラクター（スウェーデン）も参入するので入札図書類も含めすべて英語でのやり取りとなる。

- 3) (質問) 日本ではインフラなど土木建設工事の工程管理や発注、出来高管理には工区を定めて施工管理をしやすくするが、イラクではどのように施工管理をするのか。⇒ (回答) イラクの南北およそ1,000キロにおよぶ通信網を監理するのは工区よりも手順が重要となる。常にテロ等の脅威にさらされる中では時々の治安状況に応じて工区や手順は大きく変わる。
- 4) (質問) 多角的思考とは更に言うとうどういうことか。⇒ (回答) 多角的思考とは、国際協力において従来の戦略的思考に加え、被援助国の歴史や文化、さらには宗教や価値観といった技術以外の側面も含めた援助側の考え方であり、技術士の倫理観と教養に基づくものである。
- 5) (質問) 公正さを保つのは難しいと思うが、それをどのようにして乗り越えたのか。⇒ (回答) 国際競争における入札図書類の作成や応札者の技術評価を被援助国の政府職員（カウンターパート）と一緒にこなうことが公正さを担保するカギとなる。さらに、不正が当たり前という環境の中で公正さを確保するためには、プロジェクトを主導する技術士や技術コンサルタントの倫理観と教養が必要である。ここで言う教養とは、周囲がどうあろうと、ゆるぎない自己の信念において行動できる素養のことを指す。



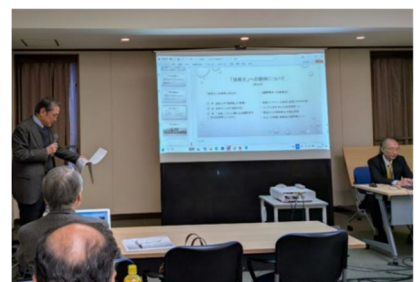
質疑応答



質疑応答



質疑応答



閉会の坪井小委員長

(以上)

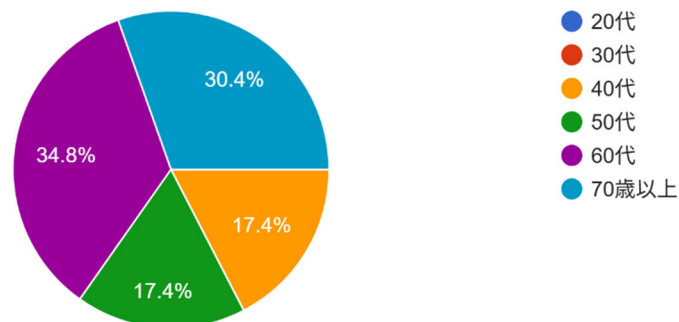
令和7年度 海外技術協力実務研修会—5

「イラク戦争から見たウクライナ復興支援に対する技術士への期待」

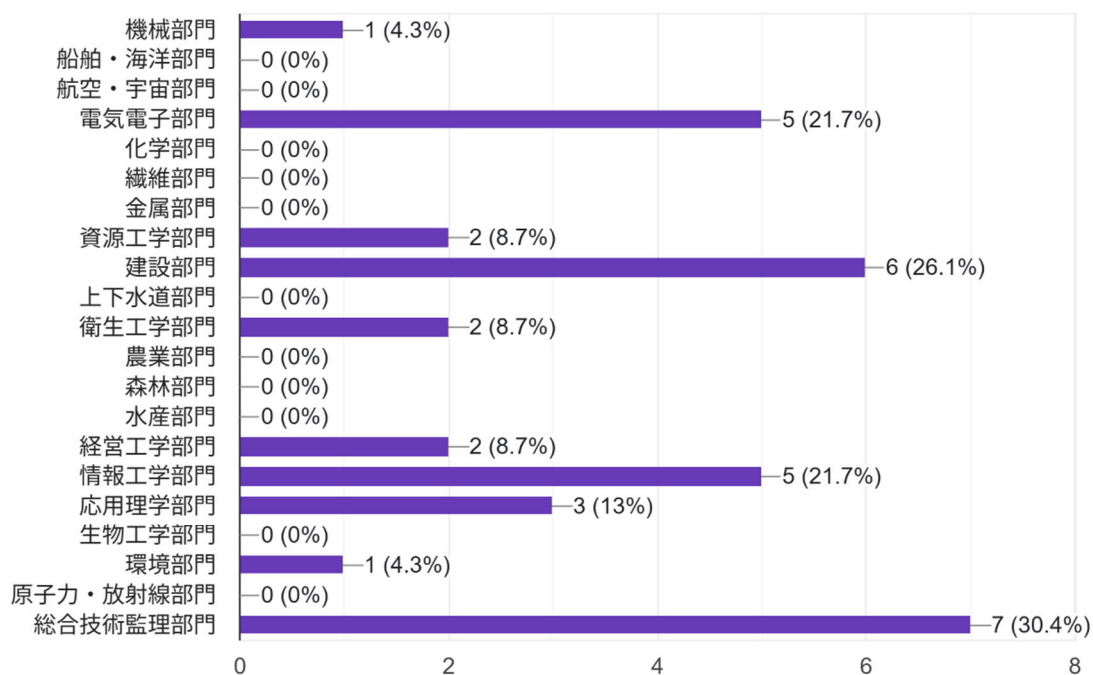
参加アンケート結果（アンケート回答者：23名）

（1）参加者の属性（回答者は全て技術士会員、非会員ゼロ）

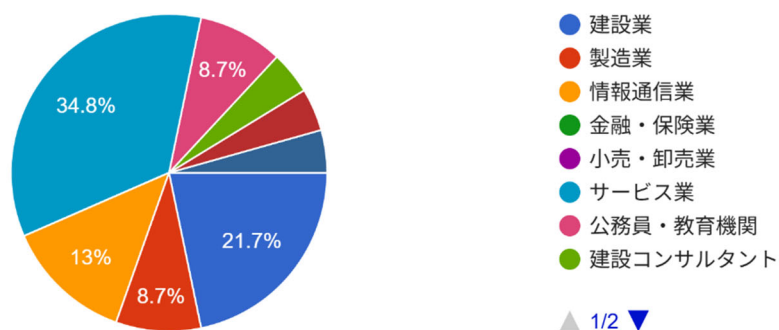
Q1. あなたの年齢を教えてください。



Q2. 技術士の方は技術部門を教えてください（複数回答可）。



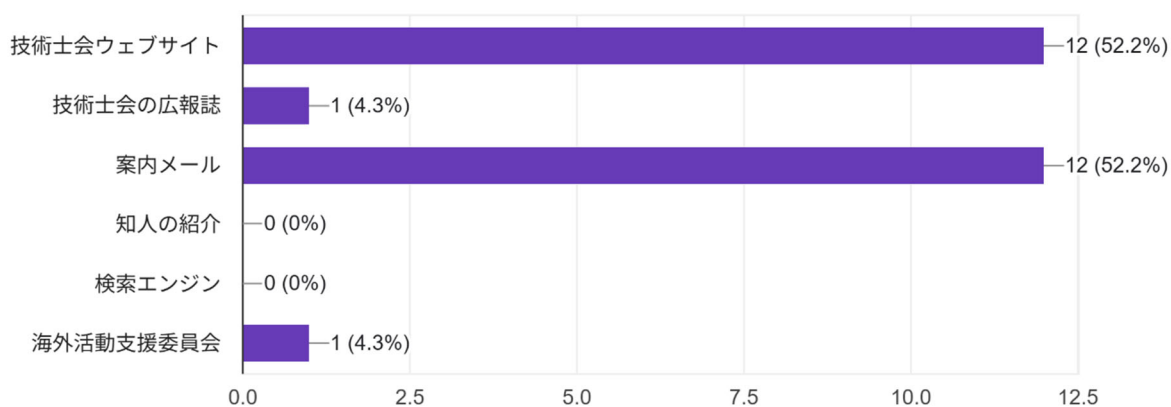
Q3. あなたの業種を教えてください。



Q4. 今回の講演会をどこで知りましたか？（複数選択可）

Q5. 今回の講演会をどこで知りましたか？（複数選択可）

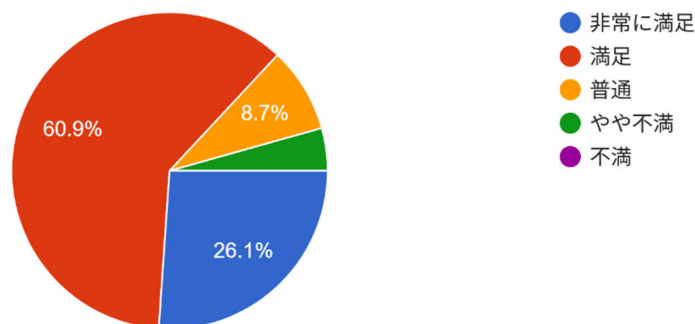
23 件の回答



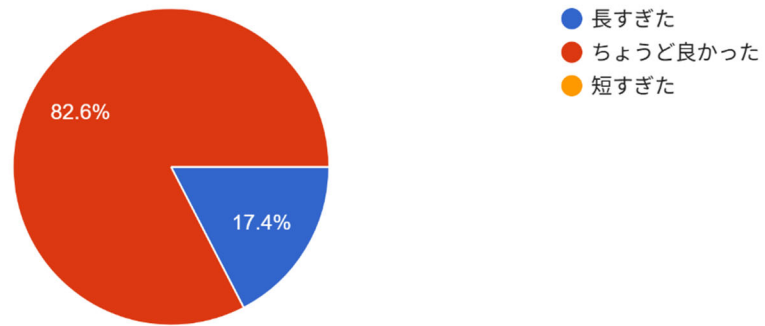
Q5. 参加しようと思った動機について教えてください（複数選択可）

(2) 講演 1 に対するアンケート回答

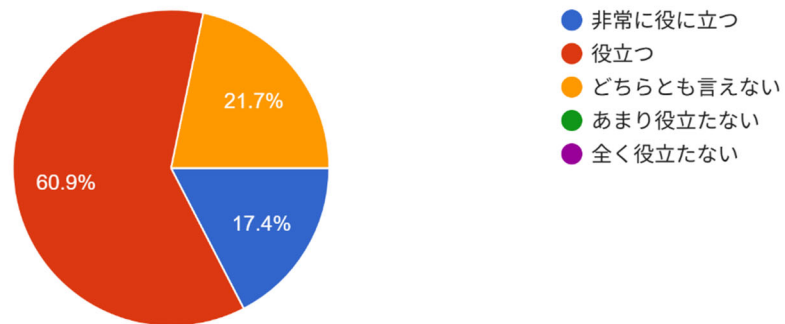
Q6. 本日の講演会の満足度を教えてください



Q7. セミナー時間（1 講演 120 分）は適切でしたか？



Q8. 本日学んだ内容は、あなたの業務にどの程度役立つと思いますか？

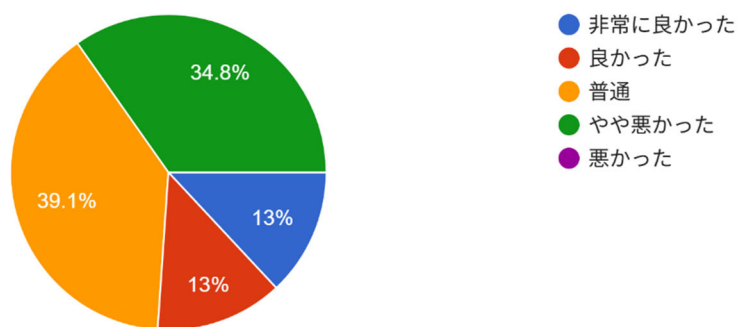


Q9. 本日のセミナーで最も印象に残った内容・役立った内容は何ですか？

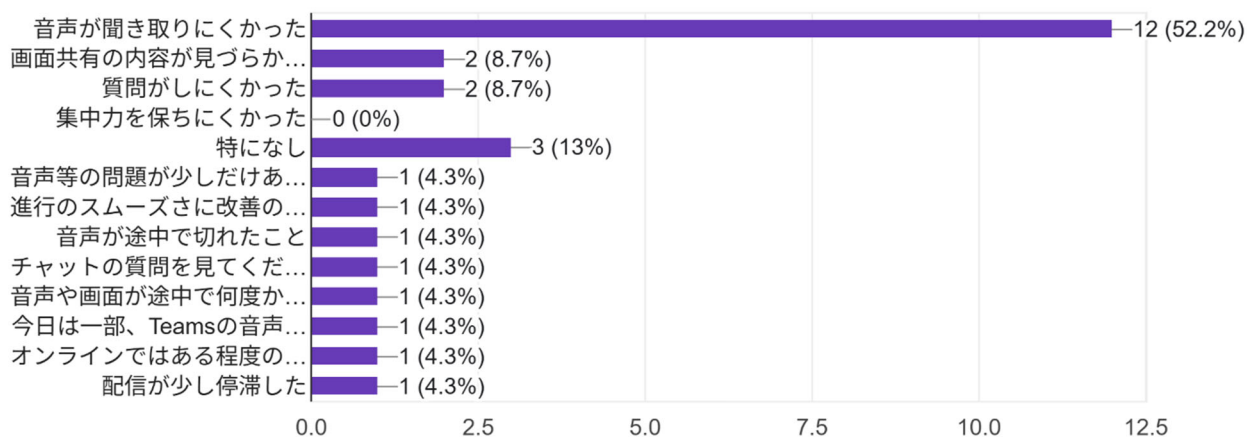
- ・ 海外、さらに戦後という特殊な状況における対応について勉強になりました
- ・ 復興支援には資機材を提供するだけでなく現地での人材育成も重要ということを主張されていた。
- ・ ウクライナ戦争とその復興支援「技術士」への期待について「技術士」の倫理観及び技術外交
- ・ 技術士としての倫理観・教養・多元的思考・公平・公正について
- ・ 迎合はしないが、文化は尊重するというあたりが、現実的にどのようにされているのか（うまく割り切れるのか）気になりました。
- ・ イラク戦後復興に関して、具体的な内容や問題点に関して生々しいお話を伺い、ウクライナ復興に関しても現在の状況を伺うことができた。マスコミの情報が偏り不足である中、大変貴重な情報を得ることで、技術士としての倫理観や姿勢を改めて考える機会になった。
- ・ 秩序づくりと人づくりが大切であり、海外復興支援に限らず国内業務でも肝要であることに気づかされた（秩序づくりが人づくりにも繋がってくる）。
- ・ 日本の支援が持つ独特の強み
- ・ 求められている技量の具体的な数字
- ・ 復興事業の苦労話
- ・ 調達時の公正をどう実現するかについての具体的アドバイス
- ・ 現地人とのコミュニケーション
- ・ 文理融合の思想と公平中立。平和下の技術士、被災後の技術士、戦争と技術士の立ち位置を明確にしておきたい。気づきを得た。
- ・ 戦争地域への日本の支援の実態。また難しい地域でも筋が通せること。
- ・ 現地の事情、文化、歴史などの考慮も必要

(3) 研修会のオンライン視聴環境や運営状況について

Q10. オンライン配信の視聴環境はいかがでしたか？



Q11. オンラインセミナーで困ったことがあれば教えてください。(複数選択可)



Q12. セミナー運営面（申込方法、案内、スタッフの対応、会場設備等）で改善すべき点があれば教えてください。

- ・ これまで通りで良いと思います。
- ・ 音声途切れ途切れの部分があったため改善を望みます。×5名
- ・ オンラインのトラブルに対して早期に対応できる体制を希望します。×4名
- ・ もし可能でしたら、モニタリング役の方がいらっしゃるとよいでしょうか。
- ・ セミナーの申込、案内面は良かったがPPTの操作がもう少しスムーズであればなお良い
- ・ PCの運用
- ・ 出来ましたら、各回、海外支援は、技術士会からメールを頂きたいです。

Q13. 講演会の満足度を上げる改善点があれば教えてください（講師、開催時期、時間など）。

- ・ 今回のように、お一人の講師の先生が長時間お話しになるのも良いと感じた
- ・ 個人的には1時間×2人だと、より集中して聞けるように思います。
- ・ 今回はたまたま参加できたのですが、平日は夜間の方が有難いです。あるいは土曜日など。
- ・ 16時以降の方が参加しやすい
- ・ 年度末は繁忙期のため、できれば年度前半を望みます。
- ・ PCの運用、音声が聞こえない場面あり
- ・ 途中の音声断が気になった。集中力の低下。
- ・ 守秘義務があると思いますが、現地の動画も、前月 JICA は現地動画ありました。

Q14. 今後、参加してみたい講演会のテーマがあれば教えてください。

- ・ 途上国から脱却し新興国に関する日本としてのかかわり方
- ・ シンガポール、マレーシア関連
- ・ 東南アジア諸国関連のテーマであればどのような分野でも興味があります。
- ・ ウクライナや中央アジアのIT系、エレクトロニクス産業系支援
- ・ ウクライナ戦争とその復興支援「技術士」建設部門への期待等があればもっと良かった
- ・ ポストSDGsを見越して考えていること
- ・ プロジェクトマネジメント
- ・ 各国への支援方法
- ・ 現地交渉のtips、および、現地の安全衛生の指導について

(以上)